

～平成27年産米の作柄及び集荷状況をお知らせします～

JAあきた白神では、平成27年度集荷・販売方針に基づき、全量出荷運動を実施しております。生産者の皆様からお米を出荷して頂くことで、販売戦略に沿って消費者へ届けることができます。また、当組合ではカントリーエレベーターを利用することで均質米を市場に安定供給し、有利販売を進めています。この取り組みによって、白神米のブランド価値が高まり、農家の方々の所得安定につなげていきます。

◆ 平成27年産米集荷実績状況 ◆

【平成27年11月5日現在】

【単位：60kg/俵】

地区別集荷実績	計画数量	契約数量	合計	1等米比率	計画対比	契約数量対比
のしろ東	76,350.0	74,313.0	69,427.5	98.5%	90.3%	92.9%
のしろ北	97,650.0	91,900.0	90,026.0	96.3%	92.1%	98.0%
能代計	174,000.0	166,213.0	159,453.5	97.2%	91.6%	95.9%
二ツ井	63,824.0	64,445.0	58,294.0	96.0%	91.3%	90.5%
藤里	40,676.0	40,729.0	37,675.5	94.6%	92.6%	92.5%
合計	278,500.0	271,387.0	255,423.0	96.3%	91.7%	94.1%

※1等米比率は、加工用米等を除いた比率となっております。

◆ 管内の品質状況 ◆

今年は平年より収穫量は少なめの傾向となっております。また、管内の1等米比率の平均は96.3%（11月5日現在）と高い水準を維持しております。しかし、出穂期以降の日照不足や登熟期に寒暖差があまりなかったことから、登熟が進まず「未熟粒」の割合が高く下位等級のものも見受けられます。また「斑点米カメムシ」による原因も見られ、来年以降も注意喚起を行ってまいります。

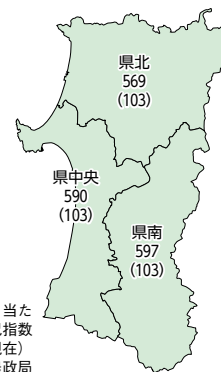
◆ 水稻作柄概況 ◆

【平成27年10月15日現在】

東北農政局は10月15日現在の作柄概況を県北部は10a当たり予想収量569kg・作況指数103と発表しました。昨年同時期に出された県北の作況指数は104となっております、作付収量の減少が見込まれています。

秋田県589(kg)
(作況指数103)

〈参考〉
作柄表示地帯別10a当たり
予想収量及び作況指数
(10月15日現在)
資料：東北農政局



営農行事案内

『廃プラ回収』を実施します

JAでは環境に配慮した営農活動の奨励と適正な回収・処理を推進するため、農家から出る農業用廃プラスチック・廃ビニール類の回収を行います。

詳しい内容については、外務で配られるチラシをご参照ください。

日時 12月5日(土)
場所 能代営農センター
二ツ井営農センター
藤里営農センター

